

タイムスケジュールについて 第5戦 筑波サーキット コース1000

# TIME SCHEDULE

9/4(日)

選手受付	07時 00分～	
フリーフィング	08時 00分～	
フリー走行①	09時 00分～	各フリー走行 暫定 20分
フリー走行②	10時 00分～	
フリー走行③	11時 00分～	
昼食・休憩	11時 30分～	
予選①	12時 30分～	各予選 暫定 10分
予選②	13時 30分～	
RACE 1 決勝レース①	14時 30分～	決勝レース 暫定 14周 周回数
表彰式	14時 50分～	
RACE 2 決勝レース②	15時 30分～	
表彰式	15時 50分～	

終了

※ 参戦選手の当日暫定スケジュールとなり、当日天候などに伴う時間変更がある場合がございます。

## RACE SCHEDULE

大会開催日程

第1戦 2022年 4月16日(土)	RACE 1 RACE 2	筑波サーキット コース1000
第2戦 2022年 5月15日(日)	RACE 1 RACE 2	モビリティリゾートもてぎ 北ショートコース
第3戦 2022年 6月19日(日)	RACE 1 RACE 2	モビリティリゾートもてぎ 北ショートコース
第4戦 2022年 8月21日(日)	RACE 1 RACE 2	テルル桶川スポーツランド
最終戦 2022年 9月4日(日)	RACE 1 RACE 2	筑波サーキット コース1000

[ご協賛企業様]



[お問い合わせ] MiniGP 運営事務局 minigp-jp@p-up.world 営業時間: 9:00 ~ 17:00 (土日祝除く)

[主催] P-UP World

[運営] MotoUP

株式会社 P-UP World  
〒120-0034 東京都足立区千住1丁目4-1  
東京芸術センター 11F

WEB

https://www.p-up.world

株式会社 MotoUP  
〒114-0002 東京都北区王子3丁目20-2

WEB

https://moto-up.com

# 世界へ走れ。 ROAD TO MotoGP

## FIM MiniGP について

2021年にFIM(国際モーターサイクリズム連盟)と『MotoGP™世界選手権』の商業権を所有する、DORNAスポーツは共に“Road to MotoGP™”の新たなプラットフォーム『FIM MiniGP World Series (ミニGPワールドシリーズ)』を新設。

『FIM MiniGP World Series』は、世界各地で開催される大会を同じ傘下に置き、マシンや競技・技術規則など、レギュレーションを統一することで、世界中のヤングライダーに平等なプラットフォームを提供し、『MotoGP™世界選手権』昇進に向けた、スキルアップとチャンスを与えることを目的としています。

初年度となる、2021年は「アルペ・アドリア、北米、フランス、アイルランド、イタリア、マレーシア、オランダ、ポルトガル、スペイン、イギリス」で開催。

2022年は、昨年開催された国に加え、新たに「オーストラリア、オーストリア、インドネシア、カタール、日本」で開催されます。

国際モーターサイクリズム連盟または、国内連盟によって設定さ



れた基準を満たした、サーキット場で開催され、競技を統一化する目的で、同じ競技規則及び技術規則に準拠します。

エントリー可能な年齢は、10歳から14歳までとし、使用するミニバイクは『Ohvale(オーバーレ)』社の「Ohvale GP-0 160」、タイヤは『Pirelli(ピレリ)』社、潤滑油は『Motul(モチュール)』社を使用します。

日本シリーズの年間ランキング上位トップ3には、2022年に開催が予定される『MiniGP World Final』に参加する権利が与えられ、『MiniGP World Final』勝者には次のステップとなる『Road to MotoGP™』のプログラムの選考会参加または、直接の参戦が提供されます。



## FIM MiniGP ジャパンシリーズについて

シリーズ戦と呼ばれる『FIM MiniGP JAPAN Series』は、2022年5大会10戦に渡って行なわれる「年間シリーズ戦」です。ラウンド毎の取得ポイントの合計により、年間ランキングを決定します。MotoGPのチャンピオンシップと同じような形式です。

年間ランキング上位3名の選手には、2022年に開催が予定されている『MiniGP World Final』に参加する権利が与えられ、『MiniGP World Final』勝者には次のステップとなる『Road to MotoGP™』のプログラム選考会参加または、直接の参戦が提供されます。

今年度は、「筑波サーキット コース1000」「ツインリンクもてぎ北ショートコース」「テルル桶川スポーツランド」において、全10戦を予定しております。シリーズ戦は年間エントリー15名とスポットエントリー最大3名で行います。

また、競技車両はOHVALE(オーバーレ)GP-0 160を主催者にて整備・点検をしたモノを各選手へ各戦ランダムにレンタルします。競技車両の管理・整備は主催者側より専任メカニックが配置され3台の車両に対し1名が管理・整備をする。

対象年齢 10歳から14歳

無料観戦

# 世界へ走れ。

# 日本初開催



# FIM MiniGP JAPAN SERIES

## 第5戦 筑波サーキット コース1000

[開催日] 2022年 9月4日(日) 一般ゲートオープン 8:00より / [駐車場] 各サーキットに準ずる



ヤングライダーの登竜門!  
FIM MiniGP ジャパンシリーズ開催

会場案内図

筑波サーキット コース 1000  
〒304-0819 茨城県下妻市鎌庭 2062-10



会場案内  
右記WEBサイトよりご確認ください。



公式アカウント



ダイジェストムービー  
第4戦テルル桶川スポーツランド  
ミドルコース



@MiniGP\_JP



@minigp\_japan



@MiniGP\_JP

公式サイトはこちら



https://minigp.jp

動画配信については、随時アップデートしてまいりますのでお楽しみに!

Twitterは、速報アカウントとしてみなさまへ届けしております。





FIM MiniGP  
JAPAN SERIES

# 日本初開催! 歴史的な第5戦目

対象年齢 10歳から14歳まで



2022年4月1日時点までに満10歳  
になっていること



2022年12月末日時点に  
満14歳でなければならない

## 年間参戦ライダー

年間参戦 **14名**

# RIDER

すべてのライダーは「イコールコンディション」

シリーズ第5戦  
毎戦上位 **3**名が表彰されます。

Race1の1~3位 Race2の1~3位

### ポイント表について

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位	12位
20	17	15	13	11	10	8	6	4	3	2	1

### 暫定トップ3

# TOP 3

シリーズポイント暫定順位  
※第1戦後のポイントとなります

**1**位

123 pt

**2**位

114 pt

**3**位

103 pt

## 池上聖竜 Ikegami Seiryu 02

**ROUND 4**  
INTERVIEW 「レース1は予想通り松山選手が離れずに抜かれて抜いての繰り返しでした。前日の夜から考えていたのですが、過去にバックマーカーに接触してしまっただけだったので、フリー走行から動きをよく見て、レースでもアウトから抜いていったら、松山選手が引っかけ、差をつけることに成功したので狙い通りでした。松山選手が転倒したことは知らなくて、最後までプッシュして走りました。レース2では、スタートから引き離れていきかけたのですが最終的に最終ラップに抜かれてM字の進入しかないと思っていたところで抜き返すことができたので、よかったです。最終戦も勝って、ワールドファイナルでも勝ってチャンスを掴めるように頑張ります」

## 松山遥希 Matsuyama Haruki 15

**ROUND 4**  
INTERVIEW 「転倒と2位と前回と同じ結果になってしまい、リベンジを果たせなかったのが悔しいですね。予選1回目までは、いい流れだったのですが、予選2回目からは(池上選手に)流れを持っていかれてしまいレース1まで続いていました。レース2では、気持ちを切り換えて挑んだのですが、最後に勝ちきることができなかったため、最終戦筑波は勝ってシーズンを終えたいです」

## 齊藤太陽 Saito Taiyo 07

**ROUND 4**  
INTERVIEW 「第4戦はエンジンが他と比べて走っておらず厳しいレースになりました。その中で、自分自身でもっと工夫できることがあったと反省しています。勝負ポイントの前に離されてしまいがちだったので、次戦に向けて、その辺りを改善する練習を重ねて挑みたいですね。早くも最終戦になるので、勝って終わるように頑張ります」

## ROUND 4



池上聖竜が4連勝で  
ランキングトップに浮上!

### レースのみどころ!

いよいよシリーズ終盤に突入したMiniGPジャパンシリーズ。第4戦の舞台は、埼玉県・テルル福川スポーツランドのミドルコース。4月のシーズン開幕前にテスト走行を行ったコースに再びMiniGPを戦うライダーたちが集合。あれから3戦6レースをこなし、大きく成長。OHVALE GP-0160にも慣れレベルの高い走りを見せてくれている。第2戦、第3戦と2DAY開催となっていたが、今回の第4戦、そして最終戦となる第5戦は1DAY開催。午前中に3本フリー走行を行い、予選を2回こなし、レース1、レース2と続くスケジュールだ。朝方まで小雨が降ったり止んだりしていたが、フリー走行が始まるころには雨も止み、路面も乾いて来ていた。たまった水たまりを除去するなどコース整備をライダーたちも手伝い、まずは藤井謙法アドバイザーがスリックタイヤで走行。コンディションを確認してからフリー走行が始まった。そして公式予選に入ると各ライダーは一気にタイムアップ。予選1では#15松山が4.2秒3.18をマークしレース1のポールポジションを獲得。2番手に#02池上が4.2秒3.49で続き、3番手には4.2秒6.20で#04国立が続きフロントロウに並んだ。4番手の#09中谷までが4.2秒台に入っている。

予選2では、#02池上が4.2秒3.18をたたき出してトップタイム。くしくも予選1で#15松山が記録したタイムと同タイムでレース2のポールポジションを獲得。#15松山は4.2秒3.77で2番手につけ、この2人が決勝をリードすることが予想された。迎えたレース1決勝。好スタートを切ったのは2番手グリッドの#02池上。これに#04国立が続き、#15松山は3番手で1コーナーに入っていく。続く2コーナーでは、#15松山が一気にトップを奪うが、3コーナーで#02池上が抜き返し再びトップへ。オープニングラップからペースを上げる#02池上を#15松山がビタリとマークして2周目に突入。3番手には、やや間隔を空けて#04国立、#09中谷と続いていたが、早くもトップ争いは#02池上と#15松山の一騎打ちの様相を呈してくる。後方では、#04国立と#09中谷が3番手争いを繰り広げ、#08知識、#07齊藤、#20土井と続いていた。9周目の6コーナーで#02池上を抜いていた#15松山が痛恨の転倒。再スタートするもの大きく遅れてしまう。しかし、当の#02池上は、#15松山が転倒したことを知らないまま全力の走行を続けトップ独走でチェッカー。3連勝を飾った。#15松山は1周遅れの1.4位となりノーポイントとなったため、この時点で#02池上が暫定ポイントリーダーとなった。2位争いは#04国立が制し、3位に#09中谷となった。4位争いは#08知識が#07齊藤を抑えてゴールした。各所で駆け引きが繰り返しながらレースは折り返しを過ぎ終盤に入っていくのだが、意外な結末が待っていた。9周目の6コーナーで#02池上を抜いていた#15松山が痛恨の転倒。再スタートするもの大きく遅れてしまう。しかし、当の#02池上は、#15松山が転倒したことを知らないまま全力の走行を続けトップ独走でチェッカー。3連勝を飾った。#15松山は1周遅れの1.4位となりノーポイントとなったため、この時点で#02池上が暫定ポイントリーダーとなった。2位争いは#04国立が制し、3位に#09中谷となった。4位争いは#08知識が#07齊藤を抑えてゴールした。レース1に続いて1.2周で争われたレース2。今度は、セカンドグリッドスタートの#15松山がホールショットを奪い、#02池上、#04国立、#09中谷、#07齊藤、#20土井と続いていく。#02池上は、最終コーナー手前の左9コーナーで#15松山をかわしトップに立つとオープニングラップを制し、レースをリードしていく。#02池上のペースについていたのは#15松山のみ。その後ろでは#09中谷が#04国立をかわして3番手に浮上。抜き返したかった#04国立だったが3周目の3コーナーで転倒を喫してしまう。さらに後方では、#03森山がポジションを上げ4番手に上がっていた。

トップ争いは、そのまま最終ラップを迎える。#15松山は1コーナーでしかけトップに立つが“ここしかない!”と思っていた#02池上は、5コーナーから6コーナーの進入で前に出ると、そのままトップの座を守りきりチェッカー。見事2戦連続ダブルウィンで4連勝を達成した。#15松山は悔しい2位。3位に#09中谷が入り連続で表彰台に上がった。以下、#03森山、#20土井、#07齊藤が続いた。

**ROUND 4** 第4戦 2022年8月21日(日)  
**AUG** 筑波サーキット コース1000

レースレポートは右記QRから



### レース結果について

第4戦時のレース結果は  
右記QRコードより



レース結果については  
Twitterにて告知!



@MiniGP\_JP

順位	ポイント	ゼッケン	名前
4	86	9	中谷 健心
5	83	4	国立 和玖
6	63	8	知識 隼和
7	61	3	森山 湊
8	53	13	吉原 真之介
9	43	12	濱地 柊音
10	38	5	立野 礼恩
11	37	20	土井 陽希
12	33	11	石川 蒼大
13	20	6	知識 可穂
14	6	16	今井 勝也
15	2	10	松尾 雅道

※ 年間参戦選手の暫定ポイントランキング

FIM MiniGP  
JAPAN SERIES

